



桜井小だより

小田原市立桜井小学校

学校だより第9号

尊徳先生の教えを胸に！未来へ羽ばたけ 桜井っ子！！ 文責 桑原 光

令和7年の始まり

新年あけましておめでとうございます。令和7年のスタートです。去年は、保護者の皆様や地域の方々には、本校の教育活動に多大なご協力をいただき大変ありがとうございました。今年も昨年同様、保護者の皆様や地域の方々のご支援をいただきながら、桜井小の子どもたちのために教職員一同、精いっぱい取り組んでいきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和7年の干支は、「乙巳(きのと・み)」です。干支の意味的には、「乙(きのと)」は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。また巳(み・へび)は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされております。そのため乙巳(きのとみ)の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると言われています。(諸説あります)

後期後半、6年生は登校する日が50日を切りました。次のステップに向かって一日一日を大切に過ごして行ってほしいと願っています。



冬休み明けの朝会で

1月8日(水)に冬休み明けの朝会がありました。2週間ぶり子どもたちは寒さの中でも元気いっぱいホッとしました。朝会の中の校長講話では子どもたちに2つの願いをしました。一つは、「1日1日を大切にしよう」です。1月8日の時点で今年度の登校日は51日。1月から3月は、行く、逃げる、去るといわれるようにあっという間に過ぎ去ってしまいます。漫然と過ごすのではなく、ぜひ毎日毎日を充実させていきたいと思っています。2つ目は「当たり前のことを当たり前」にやろうです。いろいろな人がこの言葉を大切にしているといわれていますが、たまたま見た記事に今年の箱根駅伝の優勝校である青山学院大学の原晋監督も同じような意味の言葉を使っていました。ぜひ桜井小学校の子どもたちも小学生なりの当たり前を当たり前に行えるということを大切にしてもらいたいと思いました。もちろん、何をもって当たり前とするかは人それぞれ

れのところもありますが、「あいさつされたらあいさつを返す」「使ったものは元に戻す」など小学生として共同して学校生活を送るうえでの当たり前のことを当たり前に行えるようになってほしいなと思います。ぜひ、各ご家庭でも「当たり前」について話題にしていだけたらと思います。

青少年善行賞 受賞

12月7日(土)青少年と育成者のつどいが生涯学習センターけやきで開催されました。その中で令和5年度桜井小学校5年3組(現在の6年生)の取り組みが青少年善行賞を受賞し、表彰されました。青少年善行賞とは、おおむね25歳以下の市民、またはこれを主たる構成員とする団体であって、地域社会または学校等を通じて顕著に他の模範となる活動を行ったものに対する表彰です。今回は、桜井地区青少年育成会様から推薦をいただき、この栄えある賞を受賞する運びとなりました。

業績の内容については、昨年度の5年3組の児童が総合的な学習で行った取り組みであり、社会科で学習した農業の学習の発展としての活動です。地元小田原の農業に関心を持ち、自主的に耕作放棄地の活用を考え、問題提起や意識改革に取り組んで地域課題の解決に貢献していることを評価していただきました。



表彰式当日は、代表の2人が市長さんから賞状と記念品を受け取り、会場に集まった子どもたちは、市長さんや教育長さんらと一緒に記念写真を撮ることができました。自分たちの活動が認められ多くの方々から称賛されたこの貴重な経験は、卒業前の子どもたちにとって小学校生活の大切な思い出になると思います。また、市議員さんや市役所の地域政策課の方などからも取り組みについて問い合わせを受けるなど今回の活動は時代に合った活動であり、これからの小田原を担っていく子どもたちへの期待の大きさを感じる出来事となりました。次はこれをどう継承していくかが課題であると感じています。

1月の主な行事予定

- 15日(水)代表委員会
- 21日(火)城北中新入生保護者説明会
- 22日(水)クラブ活動(3,4年生クラブ見学会)
- 23日(木)三の丸ホール鑑賞事業(4年生)
- 29日(水)小田原警察署出前授業(3年生)
- 31日(金)授業参観(1,5校時)



職員玄関前の花壇